

YOUR LIBRARY

読書ナビ

日本文化について考える10冊

第41回

図書館長（観光学部教授）・豊田由貴夫



- 1 中根千枝著 『タテ社会の人間関係』（講談社現代新書 105）（講談社 1967年）
- 2 ルース・ベネディクト著 長谷川松治訳 『菊と刀：日本文化の型』（講談社学術文庫 1708）（講談社 2005年）
- 3 土居健郎著 『「甘え」の構造』増補普及版（弘文堂 2007年）
- 4 イー・オリオン著 『「縮み」志向の日本人』（学生社 1982年）
- 5 カレル・ヴァン・ウォルフレン著 篠原勝訳 『人間を幸福にしない日本というシステム』（毎日新聞社 1994年）
- 6 和辻哲郎著 『風土：人間学的考察』（岩波文庫；青(33)-144-2,33-144-2）（岩波書店 1979年）
- 7 梅棹忠夫著 『文明の生態史観』（中公叢書）（中央公論社 1967年）
- 8 司馬遼太郎、ドナルド・キーン[対談] 『日本人と日本文化』（中公文庫；285,[し-6-19]）（中央公論社 1984年）
- 9 イザヤ・ベンダサン著 『日本人とユダヤ人』（山本書店 1970年）
- 10 内田樹著 『日本辺境論』（新潮新書；336）（新潮社 2009年）

自分の文化について、他の国の人にそれを説明しようとした時、自分がうまく説明できないことを体験する人は決して少なくないだろう。そのような場合のために、日本文化をどのように説明することができるのかを考えたための本を紹介しておこう。

1と2はともに私の専門である文化人類学の分野からの日本文化の分析である。1は資格と場という概念をもとにして日本社会の基本的な特徴を示したものである。出版されてから半世紀近くたち、既に古典となっているが、その分析は現代でもなるほどと思わせる。2はアメリカ人の文化人類学者によるもので、第二次世界大戦中に戦後の日本統治のために行われた分析の成果である。恥の文化と罪の文化という概念で日本の文化と西洋の文化を対比させた点はあまりにも有名だが、実際の記述はそれだけでなく、日本社会の多岐の現象にわたっている。3は精神分析学者によるもの。西洋にはない「甘え」という日本独自の概念

によって日本人の精神構造を広く論じている。4は韓国人による日本文化論。日本には「小さくすることの美意識」があり、これが小人伝説やふるしき文化、盆栽に通じ、はては日本の経済発展の象徴となったトランジスタにウォークマンまでこれで説明できるという。5はオランダのジャーナリストによる日本文化論。管理された日本社会に対する批判は、我々も身につまされるだろう。6、7は自然環境や生態学的視点から日本文化を説明しようとする代表的な書物。6はモンスーン、沙漠、牧場と3種類の風土を設定して日本のモンスーン文化を説明する。7は単なる日本文化論というより旧世界全体を分析した比較文明論といえる。8は日本の文学・歴史について博識の2人による対談。キーンの博識には改めて驚かされる。9は無宗教とも言われる日本人は「日本教」の信者なのだとして日本文化を説明する。10は久しぶりのスケールの大きな（著者による表現だと「大風呂敷」の）日本人論。

INFORMATION

ロイドホール(18号館)が「省エネ・照明デザインアワード2012」優秀事例に選定されました!

池袋図書館が入っているロイドホール(18号館)が、環境省主催の「省エネ・照明デザインアワード2012」公共施設・総合施設部門の優秀事例に選定されました。「省エネ・照明デザインアワード」は省エネ型の照明を率先して導入し、優れた省エネ効果と高いデザイン性の両立を

達成している施設を選定するものです。今回は渋谷ヒカリエや東京スカイツリーと並んで選定されました。池袋図書館ではHf蛍光灯、LED照明や照明制御の採用により、全てをFL型蛍光灯とした場合と比較して、年間消費電力を約48%軽減するよう計画されています。



Your Library 第24号(通号83) 発行日 2013年4月12日

編集 井川 充雄(図書館副館長) <http://www.rikkyo.ac.jp/research/library/>
 発行人 豊田 由貴夫(図書館長) 連絡先 TEL 03-3985-2519
 発行 立教大学図書館

立教大学図書館モバイルメニュー

携帯電話から
 1 蔵書検索
 2 開館スケジュール



「春あなたと図書館が 出会う季節です」



読書ナビ
 豊田由貴夫教授
 (図書館長)

Take
Free



池袋図書館エントランス



新座図書館



新座 しおり(2F) グループエリア



池袋 ラーニング・スクウェア



池袋 グループ学習室

図書館内でグループワークができる

授業のグループ発表やゼミの準備など、グループ学習ができます。

フレキシブルなグループワークができるエリアと、グループでの学習、研究に利用できるグループ学習室があります。



池袋 AVコーナー

映画DVDや音楽CDも利用できる

貸出のほか、館内のAVブースで視聴できます。

池袋図書館と新座図書館 2つの図書館を利用できる

立教大学には池袋図書館、新座図書館、新座保存書庫の計3つの図書館施設があります。池袋図書館、新座図書館のどちらのキャンパスの図書館も利用できます。他のキャンパスにある本もオンラインで簡単に取り寄せられます。

新座保存書庫の本は取り寄せて利用することができます。

ちょっとリフレッシュもできる

ねじってフタのできる飲み物は閲覧席で飲むことができます。

授業開始前から夜遅くまで利用できる

授業期間の開館時間は、
月～金：8:45～22:30(新座は～21:30)、
土：8:45～20:00、日・祝：10:00～17:00
です。 ※長期休業期間中の開館時間や休館日等は、図書館ウェブサイト等でお知らせします。

図書館でパソコンを借りることができる
館内PC席だけでなく、ノート型PCの貸出もあります。
PCの操作方法などで困ったときはPCヘルプデスクへ

春 あなたと図書館が出会う季節です

静かな環境で読書や学習に集中できる

●図書館は知の宝庫

研究書から古典的名作、ベストセラーまで幅広い分野の蔵書があります。

シラバスコーナーや、キャリア支援図書コーナーもあります。

紙の資料だけでなくデータベースも利用できます



池袋 書架

●図書だけでなく雑誌や新聞もたくさんある

- 主要な新聞に加え、海外の新聞や日本の地方紙などもあります
- 週刊誌などの各種軽雑誌もあります
- 立教大学の各学部、研究科、研究所などが刊行する雑誌(紀要)もあります



新座 雑誌架



新座 閲覧席

※図書館の資料は、館内利用のみで貸出のできない資料もあります。

レポート資料の探し方や書き方について ラーニングアドバイザーに相談できる

大学院学生のラーニングアドバイザーが、図書館を上手に利用した学習の仕方やレポート・論文の書き方などをアドバイスします。



私たちラーニングアドバイザーは、学生の皆さんの学習サポートを行っています。
「レポートの書き方がわからない」「勉強の仕方を誰かに相談したい」など、どんな相談も大歓迎です！皆さんの先輩にあたる大学院学生のメンバーが、皆さんの学習生活を親身にサポートします。
初めてのレポート課題に困ってしまった新入生の皆さんも、ぜひ一度、ラーニングアドバイザーにお話ししにきてください。池袋・新座図書館でお待ちしております。
(ラーニングアドバイザー 大嶋 玲未)

利用方法がわからない時は、 カウンタースタッフに質問できる

「利用したい資料があるが見つからない」「調べたいことがあるが調べ方がわからない」そんな時は、カウンタースタッフに気軽に声をかけてください。資料の紹介や探し方の案内を行います。

館内オリエンテーリングで図書館をマスターしよう



詳しくはパンフレットを見てください。